

2010

看護 しずおか

Vol.5
FEB



東海アクシス看護専門学校のみなさんです。

- 第56回通常総会のお知らせ
- キラリ輝く訪問看護師さん

ご支援ありがとうございます

・賛助会員…13(法人・団体)

医療法人社団千鳥会 御殿場かいせい病院・(株)田原飲料
公立森町病院・順天堂大学医学部附属静岡病院・(株)静岡新聞社
静岡放送(株)・ナーシングホーム あしたば・SMC商事(株)静岡支店
医療法人社団駿甲会 コミュニティケア高草・(株)トータル保険サービス横浜支社
医療法人社団駿甲会 コミュニティケア吉田・(株)吉見書店
東洋羽毛東海販売(株)静岡営業所

・賛助会員…2(個人)



『“寅年”で頑張る』

会長 佐藤 登美

明けましておめでとうございます。

会員の皆さまには、つつがなく佳きお年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、静岡県においては真夏、知事選を始めにして、立て続けに3回の選挙があり、その結果国政レベルも県政レベルも大きく変化しました。よもやと思っていた政権が交代し、60数年一党支配に慣れきっていた私たち国民は、ともかく驚きました。以来、その後の政権の動向には、これまでとは違った関心をもって目を離せないでいますが、会員の皆さまは如何ですか。

静岡県看護協会の昨年は、6月「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師教育課程が、全国から優秀な受講生32名を集めて開講し、12月16日には全員無事に課程修了を致しました。この事業には、内外から驚くほどの評価をいただきました。しかしこうした成果は、ひとり静岡県看護協会によるものではありません。実習など関連する医療施設は県外を含め20施設、ここでは施設側の指導者やスタッフに沢山のお世話になっておりますし、科目を担当する著名な専門講師は県内外から50名を超みました。もし、こうしたいろいろな方々の協力がなければ、到底この成果は得られなかつたと、改めてお礼と感謝を申し上げたいと存じます。静岡県看護協会の組織的評価を上げる出来事だったと、会員の皆さまと一緒に喜びたいと思います。

すぐに2月総会です。今回で56回目を迎えるこの通常総会では、平成22年度のスローガン、重点事項と事業計画（案）、当初収支予算書等（案）を提案し、ご審議を頂く予定です。さらに平成22・23年度役員・委員の選挙、平成22年度日本看護協会通常総会代議員候補者の選出などがありますので、よろしくお願いします。

特に、今回の事業計画（案）のなかには、新規な事業として認定看護管理者教育課程・サードレベルの開講、地区支部活動のための拠点整備を目的とした検討、三機能委員会の調査などを盛り込んでいます。詳細は、第56回通常総会の冊子をご覧いただいて、総会に臨んで下されば嬉しいです。

ともあれ、上記の事業計画（案）もさることながら、静岡県看護協会は公益法人化作業もいよいよ具体的な作業に入り、課題は山積状態です。でも、今年は寅年。元気を出して、協会を巡る内外の状況をよく観察、判断（アセスメント）し、間違いの少ない舵取りと確実な成果が出せるように、役員及び職員一同気張って頑張りますので、よろしくご支援下さいませ。

平成22年1月

平成21年度 第3回理事会報告

●開催日時

平成21年12月15日(火) 15:30~17:30

●場 所

静岡県看護協会 第1会議室

出席者：佐藤会長・落合副会長・赤池副会長
守屋専務理事・小長井常務理事・松田常務理事
平井理事・宇賀神理事・前田理事・吉村理事
上島理事・高倉理事・小野理事・平賀理事・豊島理事
宮地監事・望月監事・北川事務局長・坂元ナースセンター所長
欠席者：濱松理事・池ヶ谷理事・山口理事・佐藤理事・戸塚監事

I 協議事項 下記はいずれも承認された

- (1) 第56回 通常総会提出議案について
- (2) 静岡県看護協会役員報酬及び退任報奨金支給等規程の一部改正(案)について
- (3) 静岡県看護協会職員再雇用に関する規定の一部改正(案)について
- (4) 静岡県看護協会給与規程の一部改正(案)について
- (5) その他

II 報告事項

- (1) 入会申し込み者の承認について
- (2) 平成22年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について
- (3) 静岡県等への要望書提出について
- (4) 「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師教育課程について
- (5) 社団法人静岡県看護協会教育活動における教育指針について
- (6) 平成21年度秋の叙勲受章者について
- (7) ナースセンター事業報告について

第56回通常総会・特別講演会開催のお知らせ

開催日時 平成22年2月25日(木) 9時30分【受付開始】 10時00分【開会】

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ中ホール・大地

【主な議題】

- 役員委員選挙並びに日本看護協会通常総会代議員選挙
- 平成22年度スローガン・事業計画・予算・補正予算(各案)についての審議

本会発展のために会員の皆様の活発なご意見をお願いいたします。

参加する方へ

【会場へのアクセス】

- ・JR東静岡駅南口に隣接、徒歩3分
- ・公共交通機関をご利用ください。
- ・併設駐車場は有料(割引料金)です。
- ・橋梁工事中に付き一部通行止め区間があります。

【その他】

- ・本総会は平成21年度会員が対象です。
- ・当日参加も受け付けます。
- ・委任状は当日受理できません。
- ・詳細は案内文書をご覧ください。

【受付】

正面入り口に入ったエントランスホールにて
事前申込み参加者氏名の50音別で受付します。

特別講演会 午後2時30分～4時

講 師 立花 隆 氏

テーマ「がん これからの“向き合い方”」



この講演は、総会への出席者全員参加をしていただくことを原則としております。
なお、それ以外に、公益法人活動の一環として一般県民にも公開します。

総会に出席できない看護職の方で参加を希望する場合は、下記の要領でお申込みください。

●応募人数 一般 600人(先着順)入場無料 受付は午後2時～

●申込み方法等 往復はがきにて次の事項を記入の上申込みください。

①住所・施設名 ②氏名 ③電話

なお、当日は参加決定証をご持参ください。

●申込み先 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスピティオ3階
静岡県看護協会 総務部宛

●問合せ先 電話 054-202-1750

立花 隆氏
(評論家・ジャーナリスト)



* キラリ輝く訪問看護師さん

静岡県看護協会では、平成21年度の重点事項に「在宅療養支援の促進」を掲げ、「訪問看護師養成講習会」や「医療機関の看護師・訪問看護連携研修」(県委託)・「退院調整と地域連携研修」を実施し、訪問看護の推進に向けた事業を進めてきています。しかしながら、県内の訪問看護ステーション数は、126か所(H21年12月現)とH17年度をピークに減少し訪問看護ステーションに従事する看護師数は2.7%の636人(H20年12月現)にとどまっています。

2020年には訪問看護の必要者は100万人(現在の3倍)が見込まれており、2020年以降には75歳以上の後期高齢者が増大し在宅の看取りも重要な課題になりつつあり、早急な訪問看護サービスの基盤整備が必要になります。このような10年スパンの課題から訪問看護師不足の喫緊の問題を抱えている中、24時間・365日、安心を支える訪問看護を目指し、訪問看護師は日々頑張っています。「大変でも、やっぱり訪問看護が好き!」と訪問看護の醍醐味を味わっているからこそ言える言葉が返ってきます。

特に訪問看護ステーションの所長は、事業所の経営・関係者との連携調整・看護の質向上のための教育などなど、重責を担っています。今回、訪問看護ステーションを自ら立ち上げた株式会社リリーズの加藤さんの活動と、2か所の訪問看護ステーションの所長さんから、日ごろ感じる訪問看護の魅力や苦労、充実感を得た場面などを紹介していただきました。

事業部 小長井信子

一歩いっぽ

リリーズ株式会社 加藤 恵美子

山形を離れて、聖隸浜松病院に就職した。言葉が違うと何もかも違ってみえ、無口の日々を過ごす。自分らしさが出せるようになった頃、聖隸学園浜松衛生短期大学へ移動となり、長谷川保先生と出会う事になる。「天にも地にも身の置き所のない、結核に苦しむ人々」を愛し生涯を捧げられた保先生は、私にとって眩しい存在だった。“私も人の喜ぶ事をしよう”と思った。20年間学んだ聖隸を出た。なぜ?よくそう聞かれた。自分もわからない。その方が先生に近づけるように思えたのは事実である。実際は大きな勘違いだった。エデンの園から転げ落ちた気がした。が、自分で決めた事、腹を括った。



M病院に勤めて6年目、訪問看護を立ち上げる事になる。担当は私。これだ!と思った。自分でやろう。開業医のもとパートで働いた。一人週1回の契約。それで良くなる事はないと考え、たとえ10分でも、可能な限り訪問した。結果は96歳で寝たきりの方が、食堂まで歩いた。大きな褥瘡のある方は完全治癒し、歩行訓練をするまでになった。右麻痺で左下肢切断の寝たきりの方は、ポータブルトイレに移動できた。癌末期の方を除いて100%回復した。家に帰って3時。丂飯食べて風呂に入ると、世の中明るくなった。眠い。長男に助手を頼んだ。1時に帰れるようになった。365日、6年間、助手付一人訪問看護。ある日長男が叫んだ。「かっこつけんなよ!倒れたら患者さんはどうすんだよ!家族はどうすんだよ!」80歳過ぎた母は、ひたすら台所と家族を守ってくれた。患者さんは、自分の力で回復した。思い上がっていた。涙が止まらない。愛と、限りない可能性と、自分を大切にすることを学んだ。これが、保先生の言う「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」だった事を50歳過ぎて、ようやく気がついたのである。



組織にしよう。そう決心した。訪問介護、訪問看護、居宅支援、そして家族にとって最も辛い、認知症のグループホームを設立。孤独が好きと言う方も、常にデイルームに集まってくれる。核家族が一般的な近年、やがて夫婦の一人が欠け、一人ぼっちになる。訪問時代「加藤さんが来るまで起きてるから、必ず来てよ」と夜中まで起きて待っていてくれた。みんな寂しいんだ。

今年、寂しくないように有料老人ホームとデイサービスを設立。スタッフは一生懸命だ。組織にして良かった。温かなおもてなしに徹している。働ける限り。

家庭の歴史とともに歩む訪問看護

聖隸訪問看護ステーション千本 櫻井 悅子



「朝、9時過ぎると電話がまだかかる気があるんです。訪問看護ですが今日は10時にうかがっていいですか?って」「13年間おばあちゃんとおじいちゃんがお世話になったんですもの、なかなかその感覚はぬけなくて…」さきごろ亡くなったAさんのお嫁さんの言葉です。

私も在宅でAさんを看取っても、水曜日になると「訪問看護の櫻井です。きょうは10時ごろ伺ってもいいですか?」と電話しそうになります。お嫁さんの「待たせてもらいます」のやさしい言葉が聞きたくて。



13年間、一つの家庭に行き、Bさん(妻)、そして夫のAさんに訪問看護師、ケアマネとして関わってきました。Bさんを訪問していた13年前はシャキッとしていたAさんが、加齢とともに認知症が出現、身体機能も低下し訪問看護師とリハビリ(写真)をするようになりました。その後肺炎で入退院を繰り返し、最期は在宅で眠るように亡くなりました。100歳でした。Aさん夫婦の加齢とともに、息子さんの定年退職、再就職そして退職。お孫さんの結婚、出産、またお嫁さんの母親の死。様々な家庭の歴史の中に訪問看護師も見え隠れします。

熱が出たとき対処に困っていたお嫁さんが、「38度まででたけど、食欲もあり水分もとれているので様子みました。訪問看護はいつもの曜日でいいです。何かあったら連絡します」と言えるようになりました。定年退職した息子さんは「今まで仕事が主だったけどこれからは介護が主になるよ」と宣言し実行しました。

訪問看護師はこの家庭から、介護によって失うものばかりでなく、家族の絆ややさしさなど得られることも多くあることを学び、そしてこんなに長く訪問できたことの幸運を感じました。



小児、難病、がん、それぞれ病気や家庭環境の違う利用者宅へ訪問看護師は行きます。その一例一例が私たちの力になり、ステーションの歴史になるのだと思います。次の世代に引き継いでいかなければならぬ“看護”があります。

訪問看護で在宅療養を安楽に

社団法人静岡県看護協会 訪問看護ステーション掛川 岩瀬 澄代

★訪問看護は回復の過程と一緒に味わえます

誤嚥性肺炎で、退院後も多量の痰があり、訪問看護が開始になった例。家族が「恐ろしいほど吸引できる」という汚い痰の多さでした。退院後2週間ほどで再入院となり、胃瘻が造設されて退院となりました。四肢の関節の拘縮が進み、介護度5の寝たきり状態でした。「良くなって田んぼを見に行きたい」という希望がありましたが「自分で動けないならディサービスに行かない」と拒否。ベッド上のリハビリから端座位へと離床が進みディサービスやショートステイも利用するようになりました。寝たきり状態から、現在は自力で立ち上がってポータブルトイレや車椅子に移乗出来るまでADLが向上。更に経口摂取が可能になって経管栄養は必要なくなりました。劇的な回復でした。訪問看護は、寝たきり状態から、ADLが向上していく自立への援助をし、それを目の当たりにすることができます。急性期の病院看護では、なかなか味わえない看護ではないでしょうか。



★看取りについて

訪問看護のもう一方の役割として、在宅での看取りのお手伝いがあります。ご家族は、在宅で看取ることの不安を訴えます。私たちは在宅で最期まで看ることの後押しをします。その結果、家族に見守られ家で最期を迎えた方は、とても幸せそうです。「苦しんだらどうしようと思っていたけれど、最期を家で迎えさせることができてよかった」と最期まで介護できた事に満足感を味わっているように見えます。



★訪問看護の課題

ケアマネジャーは勿論、医師が訪問看護を積極的に利用して下さるようになってきていますが、まだ浸透が不十分だと感じます。もっと早く訪問看護に声をかけてくれたら、利用者がもう少し安楽になれたのに、家族の悩みも軽減できたのにと思う例があります。在宅療養は訪問介護や他のサービス事業者との連携がなければ成り立ちません。私たちに課せられた使命を果たし、共に在宅療養を支える必要があります。訪問だけでなく、担当者会議への参加や、状態の変化の報告等フットワークの良さも大切です。高齢化社会となり益々訪問看護の需要は高まります。それにはスタッフの充足が不可欠です。自分の看護の効果が確認でき、更によりよい看護を提供する方策を考えながら実践できる素晴らしい職場です。ぜひ一度訪問看護を体験してみてください。

平成22年度
「訪問看護e-ラーニング」
のお知らせ

開催予定期間：平成22年8月～平成23年1月
申し込み受付：平成22年6月～。多くの方の受講を期待しています。
【問い合わせ先】 静岡県看護協会 事業部 ☎054-202-1770



教育研修部だより

看護協会会員はじめ関係施設の皆様に多くのご協力をいただき、平成21年度の教育研修がほぼ終了いたしました。受講生たちは、多忙な日常業務を離れて主体的に研修に取り組み、沢山の学びと連携の輪を広めて職場に戻っています。

今回は、以下コースの受講生からいただいた研修参加の感想を紹介します。

● 看護職員実習指導者等講習会での学び

県西部浜松医療センター 渡辺 富美

- 9月3日に開講した講習会も40日目を迎えることになりました。
- 今回の研修に参加するまでの私は、学生の考えていることが分からず、できないところばかりが目につき、学生を否定的に捉えていました。しかし、研修が進むにつれて、学生を変えるのではなく、私たちの見方を変えて学生と関わることが大切であるということに気付きました。学生のできないところを探すのではなく、できているところを認め、足りないところを気付かせる関わりが大切であるということを学びました。
- また、学生が学校で学んだ知識を患者との関わりの中で体験し統合していくことは臨地実習でなければできない重要な授業であるということも学びました。
- 学生に多くの看護を体験させ、既存の知識と統合し理解できるように関わっていきたいと思います。患者との関わりを通して看護の喜びや楽しさを感じてもらい看護に対し意欲や関心を高めていけるように支援していきたいと思います。
- 「実習指導案作成」の演習では、グループでの学びを体験できました。全員の意見を尊重しながら、それぞれの考えを共有することの難しさを感じました。しかし、共通認識できた時の喜びや、メンバーとの一体感を感じることも体験できました。人間関係論や討議法の講義で学んだ知識を体験でさらに深めることができました。これらの学びは、臨床指導者としてだけではなく、新人指導やスタッフへの教育にも役立てていきたいと思います。



● 認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程の閉講式を迎えて

JA静岡厚生連 静岡厚生病院 奥村 加奈子

- 8月の暑い最中に始まった研修も、冬景色へと変わりつつあります。4ヵ月間、頑張れるだろうかとの不安を抱きつつも、何かを得たいとの期待感を持って始まった研修も、早いもので、11月19日に無事に閉講式を迎えることができました。
- 勤務をこなしての研修は容易なことではなく、レポート作成では、自らの文章力の無さに、日々頭を悩ませ、日常の勉強不足をイヤというほど味わいました。しかし、回数を重ねていく中で、いつしか研修が仕事より楽しいと感じていたことも事実です。各施設から集まった受講生の方々とのグループワークでは、同じ悩みや、問題を抱えていることも知り、アドバイスを頂く機会も増え、次第に心強い仲間へと変わっていました。
- 一つの病院の中で仕事をしていると、見えないことや、気付かないこともあります。こうして外に出て、講師の講義や受講生の発表を聴き、医療に携わる一人の人間として、大いに啓発され、沢山の気づきを得ることができました。この研修を一生の財産として、これからも患者様のため、また、スタッフ育成や院内の活動に生かしていくたいと思います。
- 日々の技術の向上に加え、医療の現場では人と人との調和も大切なことをあらためて実感いたしました。4ヵ月間、ありがとうございました。



● 認定看護師教育課程「脳卒中リハビリテーション看護」受講を終えて

静岡赤十字病院 植松 宏明

- 第1期生として、この認定看護師教育課程を終えて、脳卒中リハビリテーション看護の奥深さを改めて実感いたしました。
- 脳卒中の病態と看護について深く学び、実習では私の考えを病棟スタッフに伝え、継続ケアができるよう実践やカンファレンスを通して、チーム全体での共有化に向けて働きかけました。しかし、上手く伝えることができずに独りよがりのプランとなってしまい、難しさを痛感しました。また、一人の患者をじっくり見る体験は急性期の多忙な日常業務の中では得難く、今回の実習でいい機会を与えられたと感じています。
- 看護は対人援助であり、人間関係ができていない限り本当のケアは成立せず、看護師は常に関係形成の努力が必要であることを改めて気づかされ、基本に還ることができました。そして、脳卒中リハビリテーションは様々な職種の連携によって成立し、職種間の橋渡し役を担うことも認定看護師の重要な役割です。
- 新たな認定看護分野ということから周囲の期待もあって大きな不安はあるが、先ずは実践を大切にしていきます。
- 脳卒中や障害を抱える人や脳卒中予備軍の人への看護を皆で一緒に考え提供し、脳卒中リハビリテーション看護を追求していきたいと考えています。





気をつけてください。求職登録!

インターネットで求職登録をするときは、必ず「静岡県看護協会」または静岡県ナースセンターのアドレス『shizuoka@nurse-center.net』からアクセスしてください。

県ナースセンターでは看護師等の無料職業紹介を行っています。最近有料（看護職の登録は無料ですが、求人施設に紹介手数料の請求が行きます）の職業紹介事業施設が多く開設され、ナースバンクや、ナースセンター、e-ナースセンター、看護協会ナースセンター、静岡県ナースセンター等で検索すると有料職業紹介に入ってしまいます。静岡県看護協会・県ナースセンターに登録する場合は、ご注意ください。間違えて登録し、求人施設様にもご迷惑をかける事態が生じています。

今年度最後の再就業準備講習会を開催します

講習会を受けて看護職として復帰する自信を取り戻しましょう。“今がチャンス！”です。講義と演習だけで不安な方には随時実習できる病院派遣型再就業研修（訪問看護をご希望の方には訪問看護コース）がおすすめです。

- 開催日時 2月3日（水）～5日（金）9:00～16:00
- 会場 静岡県看護協会会館
- 申込先 TEL 054-202-1761 静岡県ナースセンター

月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで

054-202-1780

ナースセンターに相談してみませんか？

職場や学校での

「悩みごとの相談窓口」



お気軽にご利用ください。

「セカンドキャリア セミナー」を実施しました

平成21年11月16日（月）、17日（火）に50歳以上の看護職（現職）30人の皆様が、定年等の退職後“看護のキャリアを生かして生きがいのある豊かな生活”を送るために、さまざまな活動の仕方について学びました。なかでも、実際キャリアを生かして生き生きと働く実践報告者の姿勢に感銘を受け、「より一層看護職から離れられない思いが強くなった」など看護の魅力も再確認した様子がうかがえました。

- 内容 講義・実践報告・情報交流会

定年間近でなく、
もう少し早く受講すればよかった
という声が多く聞かれました。
来年も企画予定があります。今から準備していきましょう。



平成21年度 新人看護職員研修Ⅲ「急変時の看護」を実施しました

新人看護職員離職防止研修第3弾として、急変時の基礎的な看護実践技術の習得を目的とした救命処置技術や急変場面でのシミュレーショントレーニングを県内看護学校の実習指導室をお借りして実施しました。

- 日時・会場 10月19日・22日・11月4日の3日 [1日24人受講]
沼津市立看護専門学校 東海アクシス看護専門学校 静岡県中部看護専門学校
- 研修内容 【講義】救急蘇生 ショック症候群等 【演習】BLS基本手技、急変時の対応 AED操作



<胸骨圧迫>



<人工呼吸 バッグバルブマスクで>



<AED>



<気管内挿管介助・固定>

《研修終了後の受講生の声》

- ・急変時何をしたらいいのかイメージし、また、実際に動けるよう沢山の事を考えた気がします。
- ・自分が疑問に思っていた事も解決し良かった。
- ・先輩の動きを見ているだけで何もできなかった。今回の演習で少しでも身につけられる様に頑張った。
- ・一日とても充実した時間を過ごす事が出来た。
- ・急変時の対応に大変不安がありましたが、今日の研修で少しではありますが自信をもてました。
- *各指導者が講義や演習でアリティーのある工夫を取り入れたため、「疲れだけど楽しく体で覚える」事ができた研修となった。
- また臨床現場での体験談等からも勇気をもらい、急変時対応への不安軽減や自信につながったと感じた。（担当）

ナースセンター連絡先は TEL054-202-1761(本所)

ふれあいnetwork

東海アクシス看護専門学校



本校は、磐田市・掛川市・袋井市・御前崎市・菊川市・森町の5市1町が共同で設置した公立の看護学校で、静岡県中東遠地域の医療機関への看護師の充足を目指して、平成5年に開校しました。『アクシス（AXIS）』には回転体の軸という意味があり、地域医療の核として貢献するという目的を表しています。これまでに1,046人



の卒業生を送り出し、地域医療の発展に大きく貢献しています。教育理念の生命尊重、人間尊重の精神を基本に、高い倫理的判断力と看護実践能力を持った看護師の育成を目指し、25人の教職員が一丸となって取り組んでいます。学校の自慢の一つは、

みんなが笑顔で優しくなれる素敵な学習環境です。周辺は隣接する小笠沢川公園と一体となって花と緑にあふれ、レンガ造りが美しい校舎の中央には学校のシンボルのカリヨン（鐘）があり、快適性の高い空間と充実した設備を備えています。自慢の2つめは、優秀な人材を確実に医療現場に送り出せるよう、管内の磐田市立総合病院、掛川市立総合病院、袋井市立袋井市民病院、市立御前崎総合病院、菊川市立総合病院、公立森町病院、小笠病院を中心において、訪問看護ステーションなど、各実習施設のバックアップ体制が強固で、連携してきめ細やかな教育ができます。このように恵まれた環境に感謝しつつ、これからも学生一人ひとりを大切にして、信頼関係を基盤によりよい教育を目指していきたいと思います。

大石 美奈子

医療・安全情報 第4弾

社会経済福祉委員会は、今年度から「医療・安全情報」を「看護しづおか」に掲載し、会員の皆様に提供していきます。

KYTとは危険予知トレーニング (Kiken Yochi Training)

業務を行う作業者が事故や災害を未然に防ぐために、作業場や作業工程に潜む危険を先取りし、対策を講ずる目的で行うものです。今回は搬送の場面をテーマとしてとりあげました。急いでいるときこそ安全確認を忘れずに!!



・医療看護安全トピックス ~インフルエンザ脳炎・脳症に関する緊急安全性情報~

- 鶏・卵アレルギーのある方のインフルエンザワクチン接種は、慎重投与・インフルエンザ関連疾患に対し、メフェナム酸(ポンタールR)、ジクロフェナク(ボルタレンR)、アスピリン(バファリンR)、非ステロイド抗炎症剤(ロキソニンR)などの解熱剤使用は原則禁忌 ※発熱時、内服や坐薬などはむやみに使用しないこと

世界緑茶協会主催
『平成21年度O-CHAパイオニア賞顕彰 新技術・新製品開発大賞』を受賞

受賞
おめでとうございます

緑茶の効能を活かした看護用品の開発 静岡赤十字病院 5の2病棟

看護・介護は24時間、365日続くため、使用する看護用品は、使いやすく、安全で、確実に目的を達成できる物でなくてはなりません。看護師としての観察力・経験に、生活者としての視点・発想を取り入れ考案・作成した看護用品に、緑茶の効能(消臭、抗菌、吸湿性)を活かし使用しました。患者・家族からも評価を得て、商品化もされました。